

令和 6 年度 第 2 回学校評価について

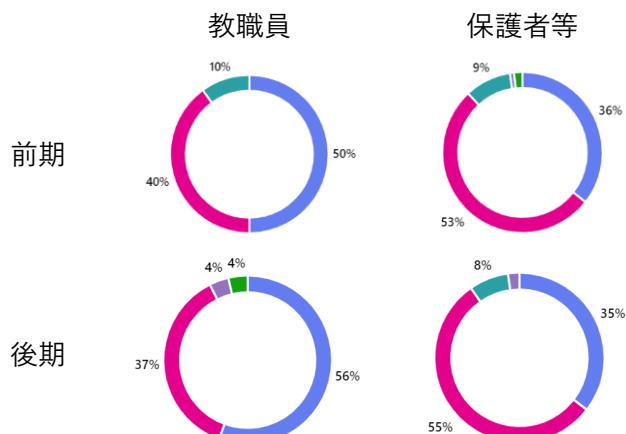
本校教育活動にご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

令和 6 年度第 2 回学校評価に関するアンケートの結果をご報告いたします。いただいたご意見をもとに、よりよい学校づくりに向けて、取り組みを進めて参ります。ご高覧いただけますと幸いです。

1 学校教育目標について

● そう思う ● 大体そう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない ● わからない

① 岩倉北小学校の校是（教育理念）「自走自在」についてよく知っている 【大人】

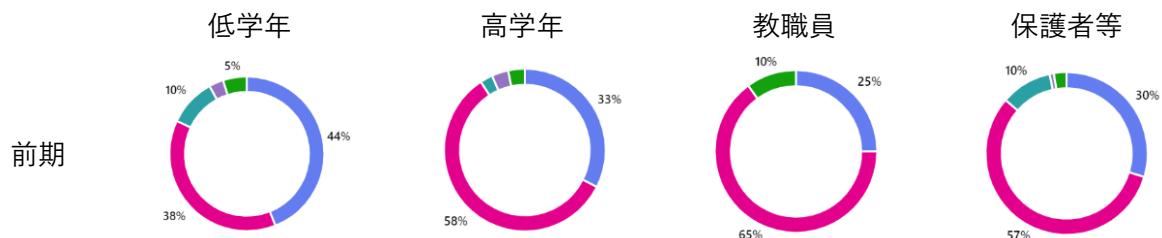


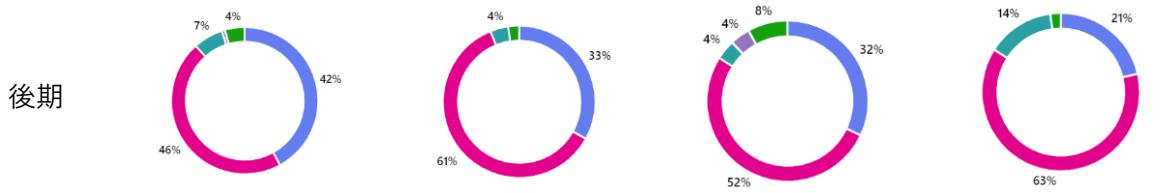
2 「確かな学力」の育成に向けて

● そう思う ● 大体そう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない ● わからない

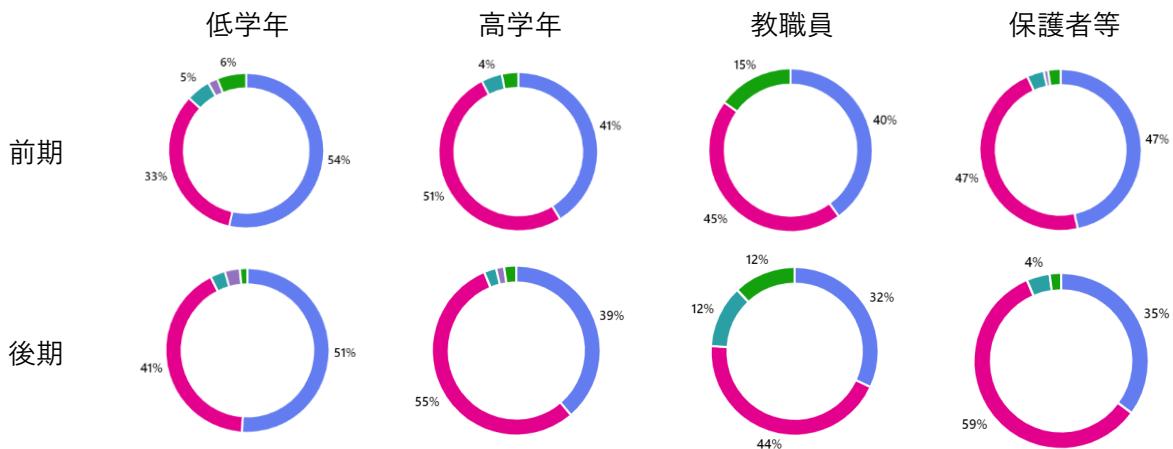
② わたしは、学校目標(自走自在)や 学年目標に 向かって 学習している 【児童】

教育活動を通じて、自走自在する子どもの姿(自分で決めたためてを実践してふり返り、成長したり成長を感じたりする姿)が見られる 【大人】

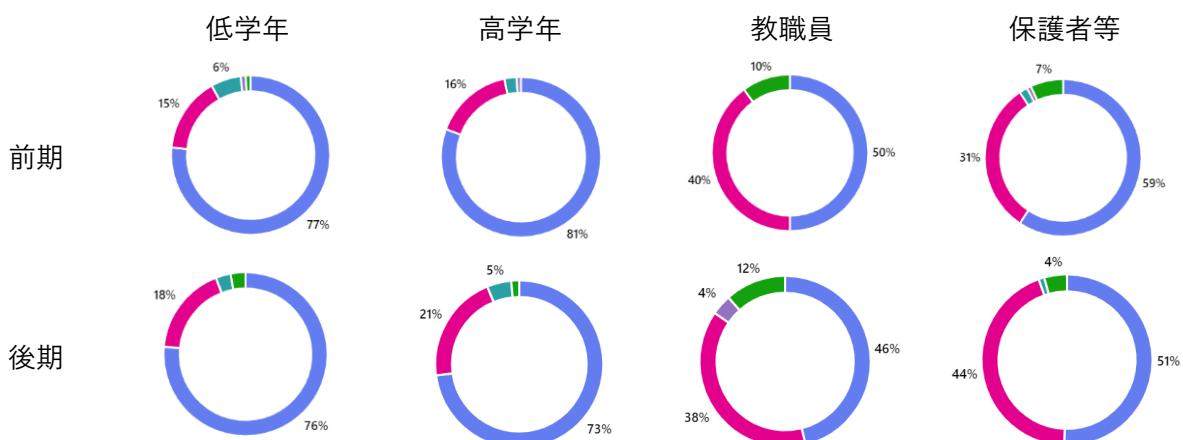




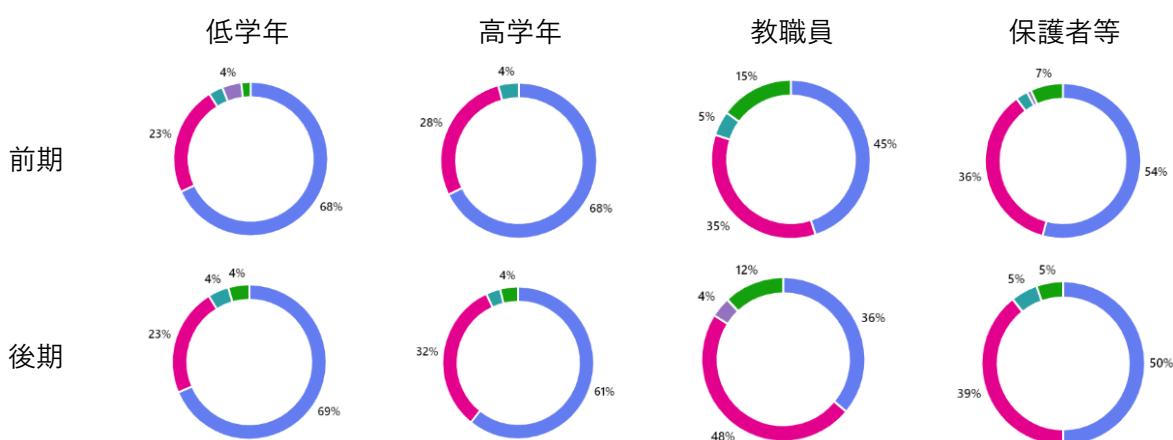
- ③ わたしは 授業中に いっしょけんめい 学習している 【児童】
 子ども(たち)は 授業中にいっしょけんめい 学習している 【大人】



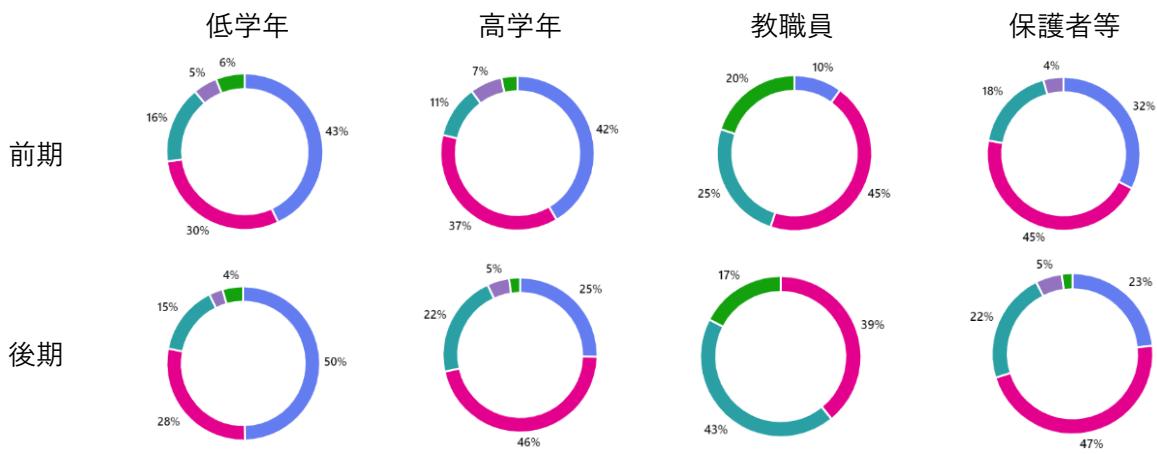
- ④ 先生は みんなが よくわかる 授業をするために がんばっている 【児童】
 先生は みんながよくわかる授業をするために 努力している 【大人】



- ⑤ 先生は みんなが「やりたい！」「かんがえたい！」と思う 授業を するために がんばっている 【児童】
 先生は みんなが「やりたい！」「考えたい！」と思う授業をするために 努力している 【大人】



- ⑥ わたしは 授業のほかに 家などでも 学習を がんばっている 【児童】
 子ども(たち)は 自主学習や家庭学習に 前向きに取り組んでいる 【大人】



保護者のご意見・提言・支援策

保護者の意見:

- ・自主的に調べ、考え、まとめる授業が学習意欲を高めている
- ・先生方が個々の子どもに丁寧に向き合おうとする姿勢に感謝している

提言・支援策:

- ・探究的な学びをさらに強化し、自主学習を支援するための教材や環境整備を進めてほしい
- ・チーム担任制を活用し、複数の視点から児童の学びをサポートする体制を充実させてほしい

成果・課題・解決策

成果:

- ・子どもたちが自主的に取り組む活動が多く、学習意欲が高まっている
- ・チーム担任制により、複数の教員から多角的な指導を受けられる

課題:

- ・教員の負担が大きく、個別指導が十分に行き届かない場合がある
- ・基礎学力の確実な定着
- ・やらされる家庭学習からの脱却

解決策:

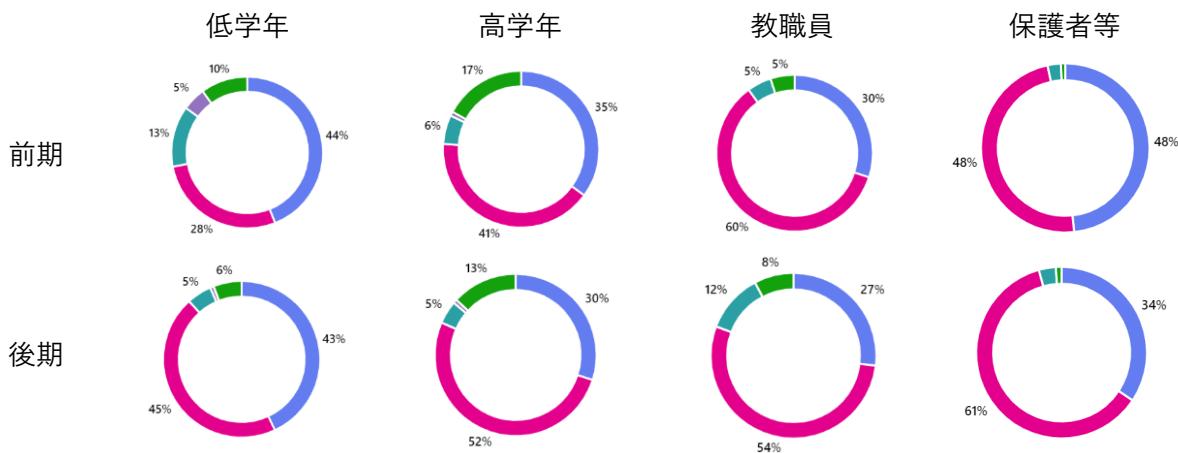
- ・教員や支援スタッフの適正な配置と個別指導の充実
- ・ICTを活用した個別学習支援システムの導入
- ・朝のスキルアップタイム等による基礎学力定着の機会と時間の担保
- ・学びに主体性をもたせる家庭学習

3 「豊かな心」の育成に向けて

● そう思う ● 大体そう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない ● わからない

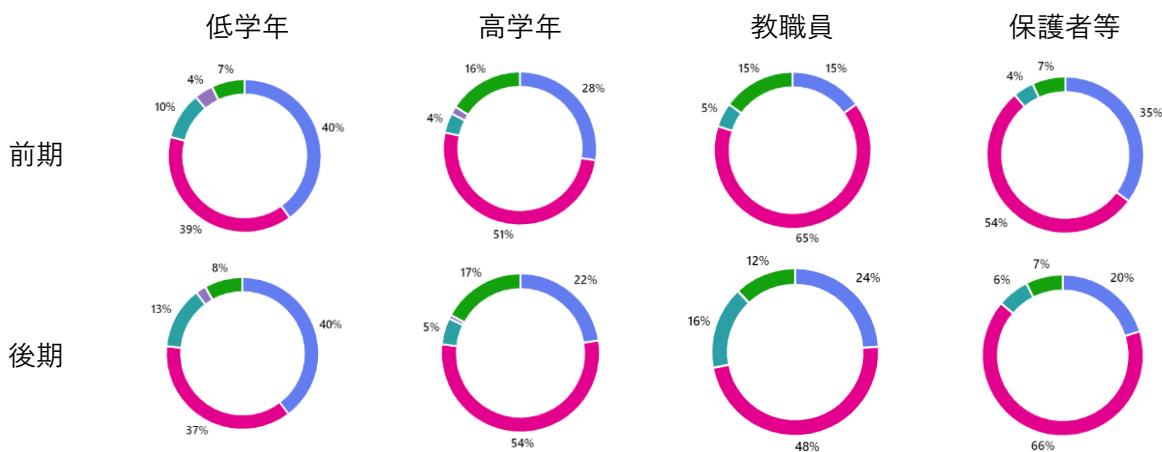
⑦ わたしは 学校にいる人たちに やさしく している 【児童】

子ども(たち)は、友達や周りの人に対し、優しくかかわっている 【大人】



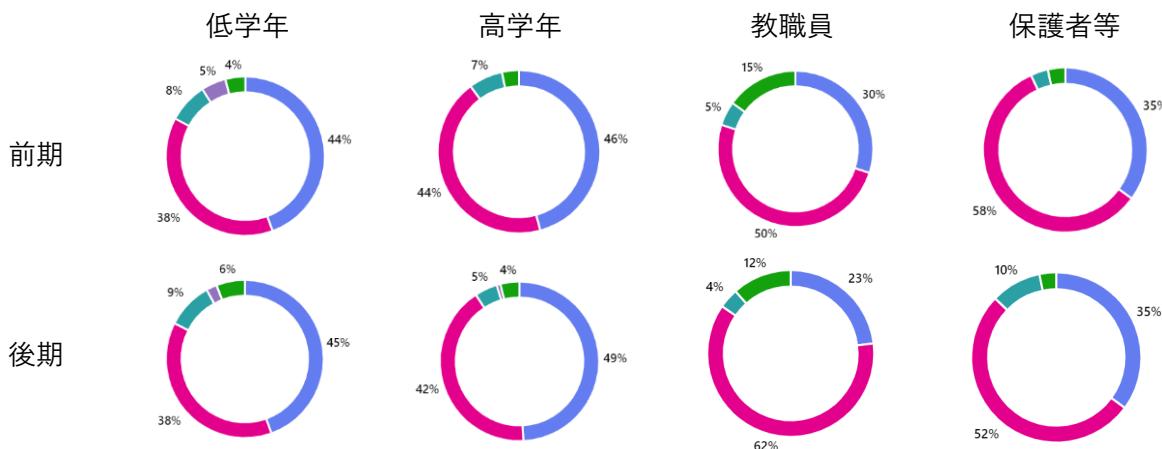
⑧ わたしは 学校のみんなが 気もちよく すごせるように 行動している 【児童】

子ども(たち)は、学級や学校の 1 人 1 人が気持ちよく過ごせるように 行動している 【大人】



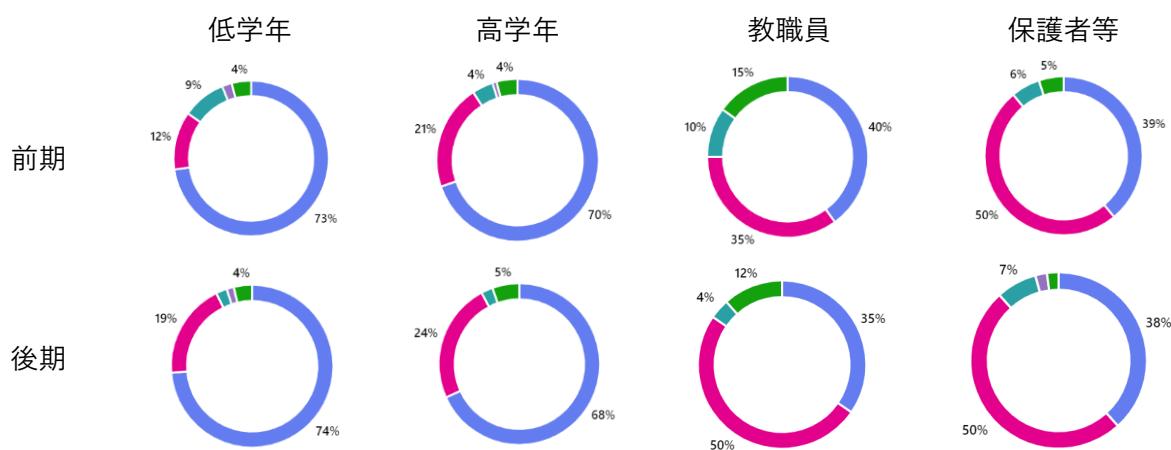
⑨ わたしは 授業や 行事などで 人と 協力することができている 【児童】

子ども(たち)は、お互いに認め合い、支え合い、協力し合いながら、学校生活を送っている 【大人】

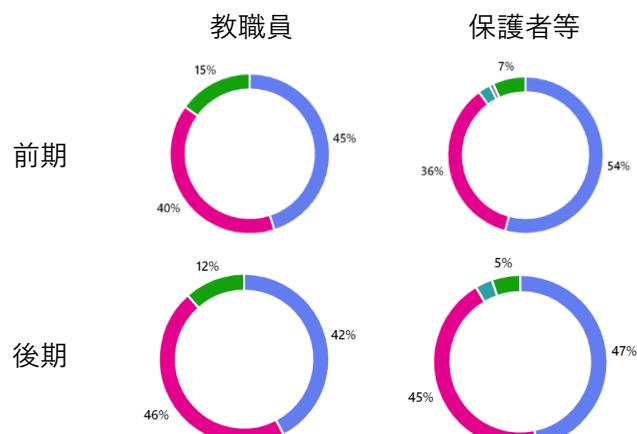


⑩ 先生は 1 人ひとりが 大切にされる クラスを つくるために がんばっている 【児童】

学校は、一人ひとりが大切にされるクラスをつくっている 【大人】



⑪ 学校は、子ども同士が協働して取り組むことができる場をつくっている 【大人】



保護者のご意見・提言・支援策

保護者の意見:

- ・ 縦割り活動や学年を超えた交流が良い影響を与えている
- ・ 言葉遣いが荒くなることや呼び捨てに対する懸念がある

提言・支援策:

- ・ 縦割り活動の継続・拡充を図り、異年齢間での交流を通じた思いやりや責任感の醸成を促進してほしい
- ・ 授業中の言葉遣いに関する指導を徹底し、教職員が模範的な姿勢を示すことで児童の言葉遣いを改善してほしい

成果・課題・解決策

成果:

- ・ 縦割り活動やクラブ活動を通じて、異学年交流が盛んである
- ・ たてわり活動等児童会活動の充実により、学年を超えた良好な関係を築いている
- ・ 教職員の積極的な声かけや働きかけにより、子どもたちの優しさや素直さが育まれている

課題:

- ・ 言葉遣いや態度に関する指導が不十分な場合がある

解決策:

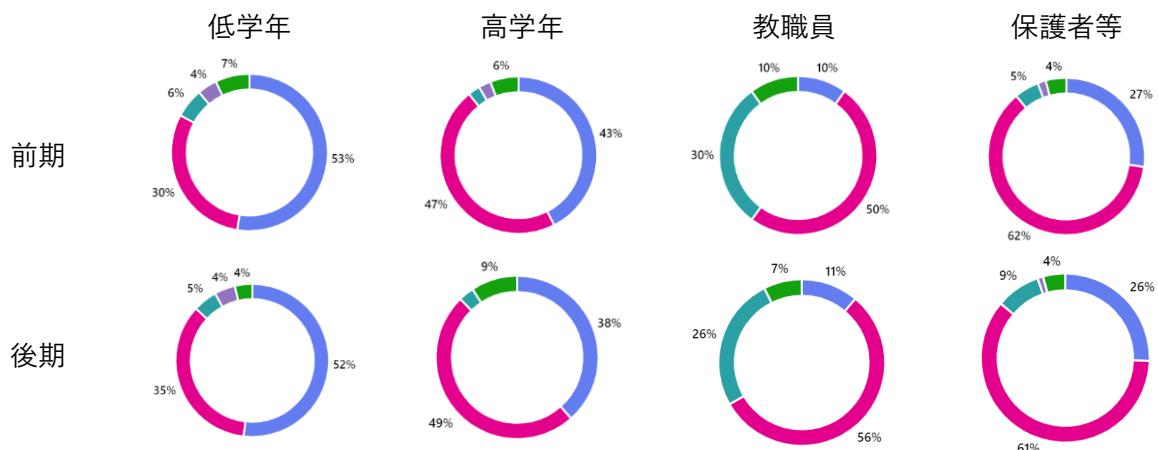
- ・ 言葉遣いや態度について学び・考える機会の設定
- ・ 教職員の言葉遣いの見直しと、模範となる行動の意識向上

4 「健やかな体」の育成に向けて

● そう思う ● 大体そう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない ● わからない

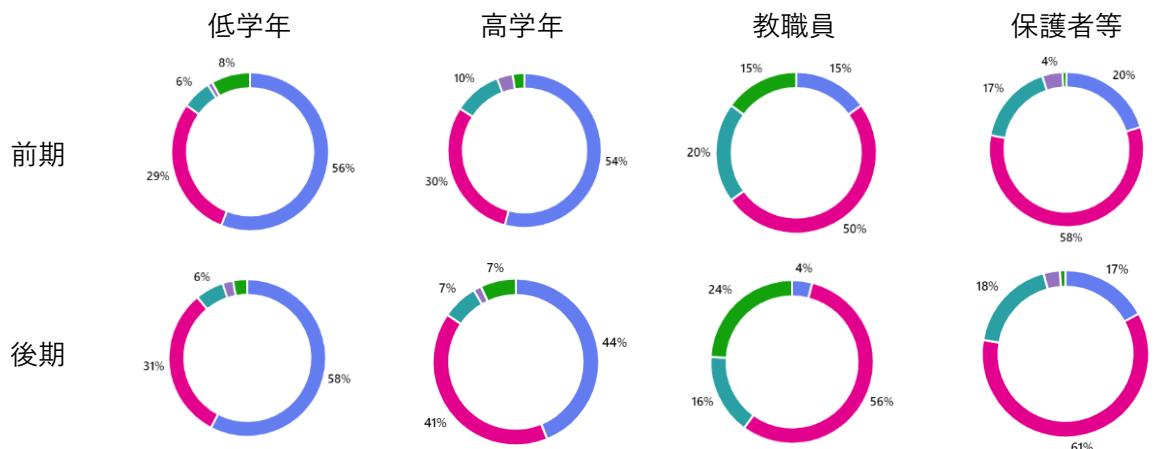
⑫ わたしは 自分も 友だちも 安全に 過ごすことが できるように 気をつけて 行動している 【児童】

子ども(たち)は、自分や友達の安全を考えた行動をとることができている 【大人】



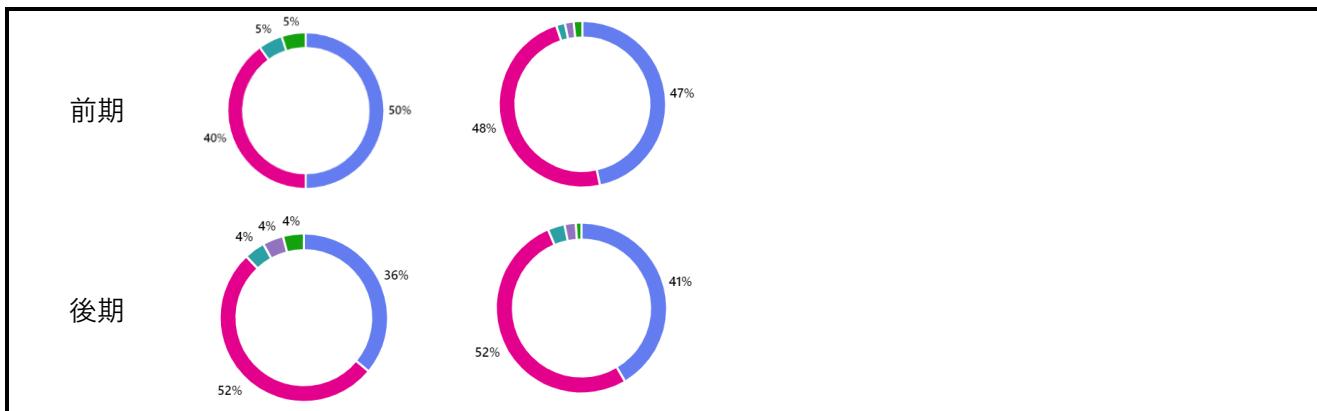
⑬ わたしは バランスよく 食べたり、外に出て 体を動かしたりすることができている 【児童】

子ども(たち)は食事・睡眠・適度な運動などの視点で、自分の健康を考えた行動をとることができている
【大人】



⑭ 学校・保護者・地域が協力して、子どもの安全や健康に対する取り組みをすすめている 【大人】

教職員 保護者等



保護者のご意見・提言・支援策

保護者の意見:

- ・運動会やクラブ活動を通じて子どもの成長を感じる
- ・校内の防犯意識が低く、改善が必要と感じている

提言・支援策:

- ・運動会やクラブ活動をより充実させ、子どもの主体性や体力向上を図る取り組みを継続してほしい
- ・防犯対策を見直し、緊急ベルや防犯器具の位置・取り扱いを明確化し、訓練を実施してほしい

成果・課題・解決策

成果:

- ・運動会や部活動を通じて、子どもたちの体力向上が図られている
- ・学校行事を通じて、子どもたちが積極的に体を動かす機会が多い
- ・委員会の働きかけにより、子ども自身が体を動かす楽しさを見出している

課題:

- ・校内で、または、放課後に、児童が自他の安全を考えて過ごそうとする意識が低い
- ・校内の安全対策の充実

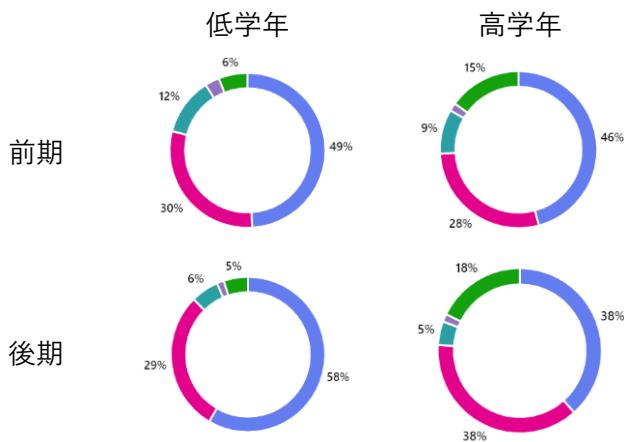
解決策:

- ・委員会発信で安全面での働きかけを強化する
- ・交通安全教室や自転車安全教室の取り組みの二次活用・安全ノートの使用
- ・防犯訓練の効果的な実施、防犯設備・環境の見直し
- ・保護者や地域と連携した防犯意識の向上

5 学校独自の取組について

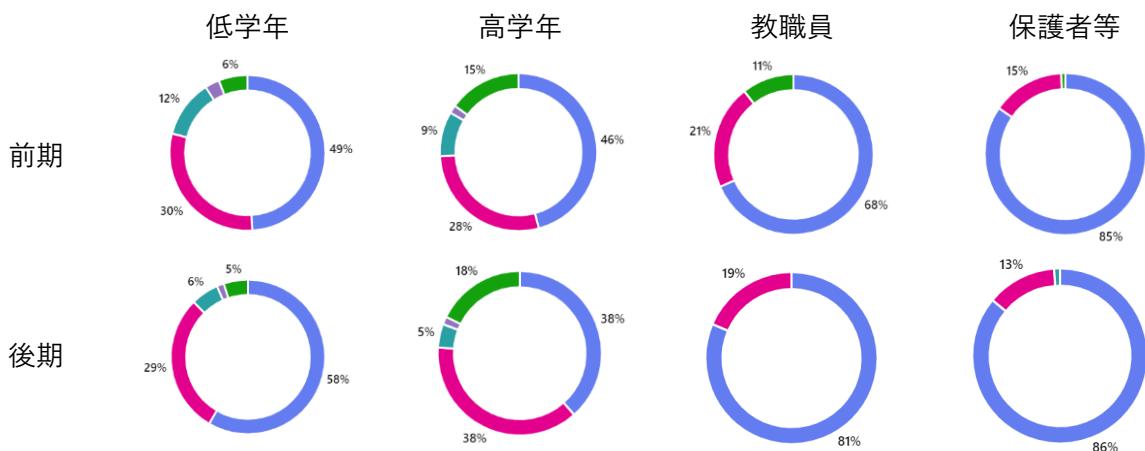
● そう思う ● 大体そう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない ● わからない

⑯ 学校・保護者・地域が、互いに協力し合って、子ども(たち)を育てている 【大人】



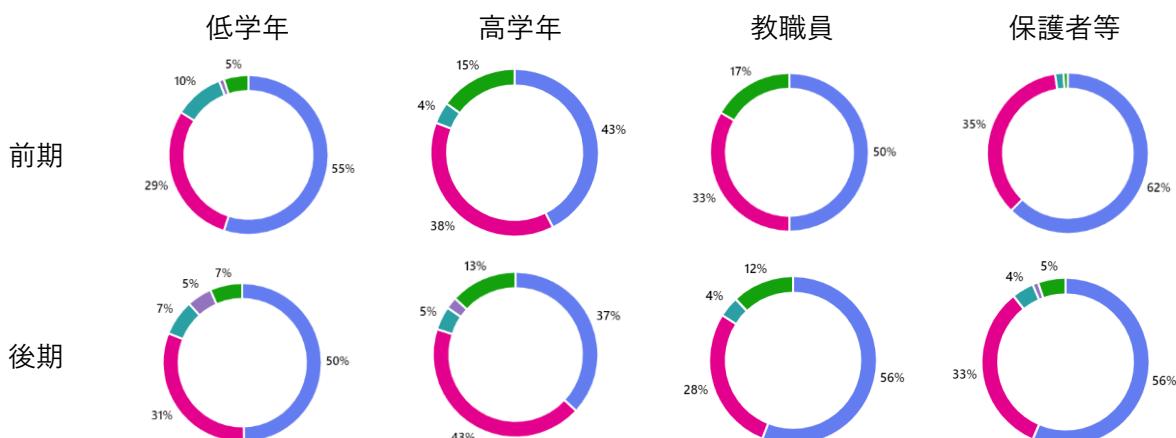
⑯ わたしには よいところがある 【児童】

子ども(たち)には よいところがある 【大人】 ※自己有用感に関する項目



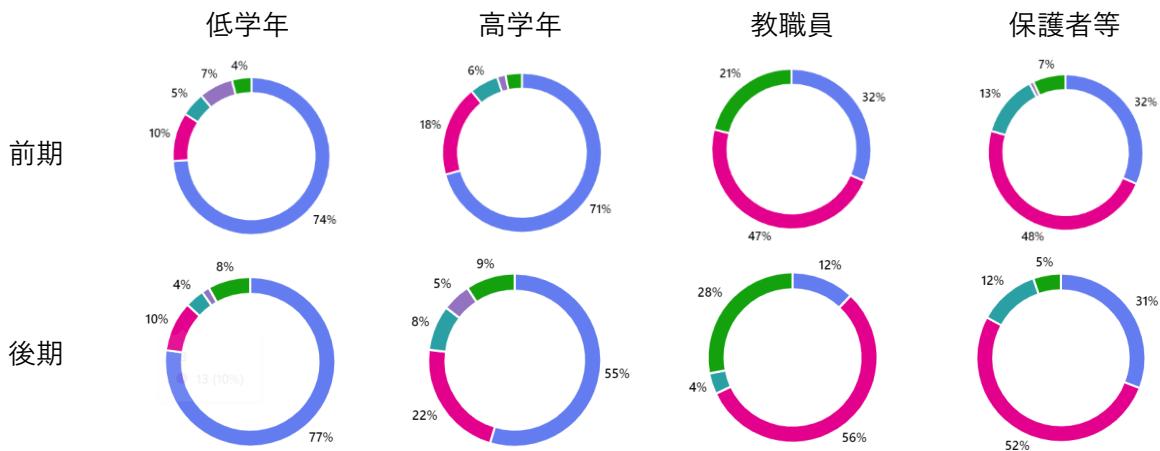
⑯ 先生は、わたしのよいところを みとめてくれている 【児童】

先生は、子ども(たち)のよいところを 認めてくれている 【大人】 ※自己有用感に関する項目



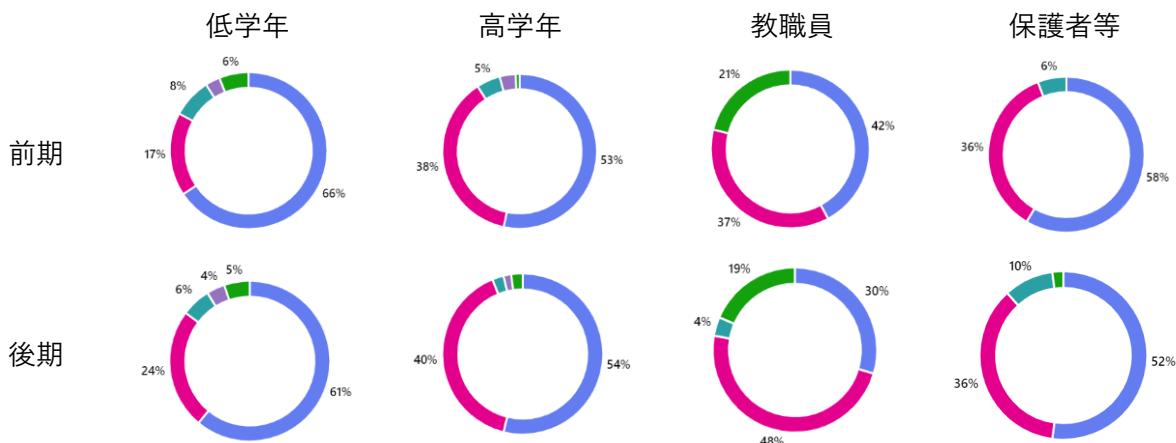
⑯ わたしは、しょうらいのゆめや 目標をもっている 【児童】

子ども(たち)は、将来の夢や目標をもっている 【大人】 ※自己有用感に関する項目



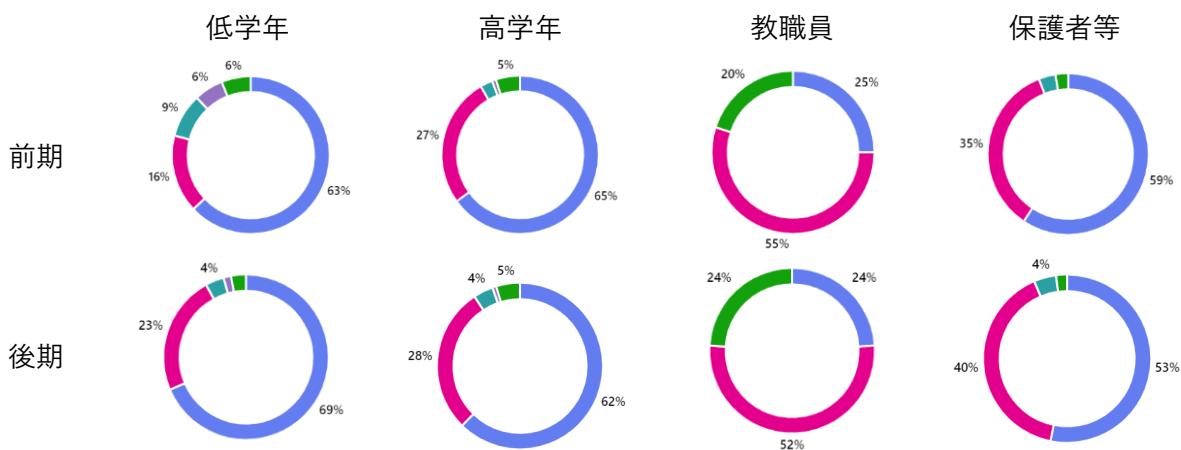
㉑ わたしは、学校に行くのは楽しい 【児童】

子ども(たち)は、学校に行くのは楽しいと感じている 【大人】 ※ウェルビーイングに関する項目

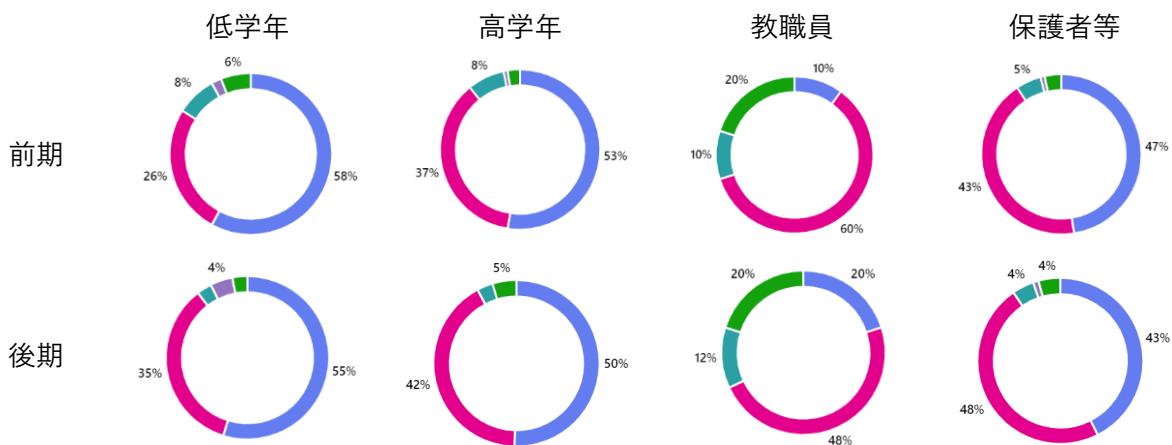


㉒ わたしは、ふだんの生活の中で、幸せな気持ちに なることがある 【児童】

子ども(たち)は、普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある 【大人】 ※ウェルビーイングに関する項目



- ㉓ チーム担任や 行事などで、いろいろな先生や 友だちと 学習すると、学校生活が すごしやすい 【児童】
 こども(たち)は、チーム担任や行事などで いろいろな先生や友だちと 学習することで、学校生活が過ごしや
 すいと感じている 【大人】



保護者のご意見・提言・支援策

保護者の意見:

- ・他校にはないユニークな活動が、子どもたちに楽しく有意義な時間を提供している
- ・子どもが先輩から学び、後輩に教える流れが良い影響を与えている

提言・支援策:

- ・「イワキタラしさ」を大切にした独自の行事や活動を継続してほしい
- ・上級生が主体となる活動の機会をなくさず、リーダーシップや協調性を育む環境を保ってほしい

成果・課題・解決策

成果:

- ・イワキタ芸能クラブや運動会レンジャーなど、行事や児童会活動における子どもの活躍
- ・子どもたちの「やりたい！」を実現する場が多く提供されている

課題:

- ・行事の準備や運営において教職員の負担が大きい
- ・チーム担任制で情報共有が難しい場面があり、教員同士の共有の場を増やすことが重要
- ・学校、地域、保護者が同じ方向性で協力し、子どもたちの安心・安全な学校生活を支援したい

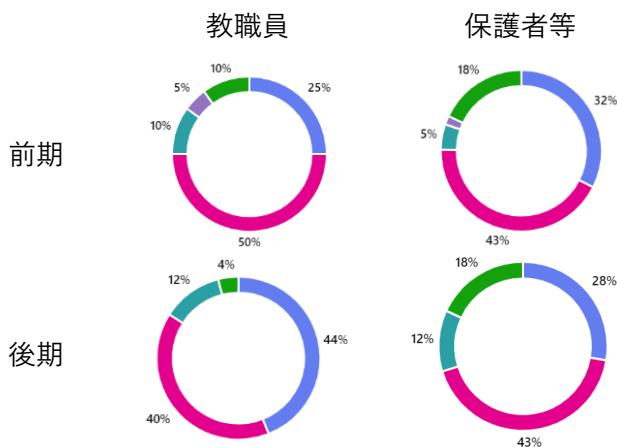
解決策:

- ・保護者や地域ボランティアの協力を得て、行事の運営をサポート
- ・行事の見直しや効率化を図り、教職員の負担軽減を目指す

6 教職員の働き方改革について

● そう思う ● 大体そう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない ● わからない

- ⑯ 学校は、教職員がいきいきとやりがいをもって働くことができるよう、教職員と子どもが向き合う時間を確保するなど、環境づくりや働き方改革をすすめている 【大人】



保護者のご意見・提言・支援策

保護者の意見:

- ・チーム担任制は良いが、教職員の負担が大きいように感じる
- ・教員不足が見受けられることに懸念を持っている

提言・支援策:

- ・教職員の業務を効率化するため、ICTの活用や外部支援者の導入を進めてほしい
- ・地域や保護者との連携を強化し、学校全体で教職員を支援する体制を構築してほしい

成果・課題・解決策

成果:

- ・チーム担任制により、複数の教職員が協力して子どもを見守る体制が整っている

課題:

- ・教職員の負担が大きく、メンタル面でのケアが必要だという声が上がっている
- ・各立場で広い視野を保つ時間的余裕が不足していることが心配されている
- ・教職員の時間を生み出す仕組みづくりが進んでいますが、仕事や業務の多さ、多忙感が課題
- ・学校だけでの工夫では解決が難しい

解決策:

- ・教職員のメンタルヘルスケアの充実
- ・働き方改革の推進と、業務の効率化を図る